

条例改正
全員賛成で可決

いじめを見逃さない
いじめで苦しむ子どもをつくらない

子どもいじめ防止条例の一部改正

いじめゼロ連絡協議会は地域団体との連携、いじめ防止に関する調査、施策の推進などを行っています。いじめを見逃さず、素早く丁寧に対応しようとして、名称が「いじめ見逃しゼロ連絡協議会」に変更されます。

問 名称変更に至った経緯は。
答 いじめはいつでもどこでも誰にでも起こり得るという前提に立ち、見逃さないことが重要であると協議会で議論して、名称を変更することとなった。
問 協議内容の周知方法は。
答 毎年「青い空」という新聞にまとめて、各自治組織に配布している。
問 令和2年度のいじめ認知件数は。
答 小学校568件、中学校63件で他市と比較すると多い。これは教職員が学校生活の中で細かく児童・生徒を見守った結果、認知件数が多くなっていると考えている。
問 不登校の児童・生徒への対応は。
答 担任をはじめ、管理職、生徒



条例改正
全員賛成で可決

軽自動車税の減免申請の
手続きが簡略化される

市税条例の一部改正

市役所の窓口で手続きをしていた身体障がい者等に対する軽自動車税の減免申請の手続きが簡略化されます。

問 どのように減免申請の手続きが変わるのか。
答 前年度に減免を受けた納税義務者に対し、納税通知書発送前に継続減免申請の案内を送り、郵送での申請受付や添付書類の省略により申請者の利便性の向上を図る。
問 添付書類は。
答 運転免許証、障害者手帳等の写しが必要となる。
問 障がい者の家族が所有する車も対象になるのか。
答 減免の対象は、本人またはその人と生計を一にする人が所有する車両で、本人または生計を一にする人が運転する場合は対象となる。
問 車両が入れ替わった場合はどうなるのか。
答 新規の取り扱いとなり本来の減免申請をもらうことに

問 申請件数はどのくらいか。
答 令和2年度は、245件である。減免金額では約226万円である。

問 名称変更に至った経緯は。
答 いじめはいつでもどこでも誰にでも起こり得るという前提に立ち、見逃さないことが重要であると協議会で議論して、名称を変更することとなった。
問 協議内容の周知方法は。
答 毎年「青い空」という新聞にまとめて、各自治組織に配布している。
問 令和2年度のいじめ認知件数は。
答 小学校568件、中学校63件で他市と比較すると多い。これは教職員が学校生活の中で細かく児童・生徒を見守った結果、認知件数が多くなっていると考えている。
問 不登校の児童・生徒への対応は。
答 担任をはじめ、管理職、生徒



条例制定
全員賛成で可決

発育・発達の不安を
早期にサポート

市立児童発育・発達支援センター条例

フットピア2階で社会福祉法人が管理運営している児童発育・発達支援センターを市の施設とする条例が可決されました。令和3年4月から市が審議会を設置し、運営の方針などを決めていきます。

問 民間施設が公の施設になるが、今までは何が不足だったのか。
答 相談支援事業や保育所等訪問支援事業など、民間施設では人員確保が難しく、その部分を充実させたい。
問 公の施設とする効果は。
答 法人が保健センターや学校などとの連携を行っていたが、市が深く関わることで、市の関わりも強くなる。
問 施設の利用方法は。
答 相談には基本的に使用料はかからないが、受給者証を取得した人は利用契約を結ぶこととなる。
問 切れ目ない相談支援及び個別療育との関係は。
答 受給者証の取得に至らない、発育・発達に不安のある子どもの支援を強化していく考えである。
問 受給者証を取得した児童の障害福祉サービスの使用料は。
答 生活保護世帯、住民税非課税世帯は無料、年収で890万円以下の世帯は月額4600円、それ以上の世帯は3万7200円が上限額となっている。



児童発育・発達支援センター

補正予算
賛成多数で可決

ふるさと納税返礼品の充実

令和2年度一般会計補正予算(第13号)

ふるさと納税寄附金が当初の想定を上回り、2200万円の見込みとなりました。なお、返礼品などの業務委託料の予算も増額補正されました。

問 ふるさと納税寄附金が増額となった理由は。
答 返礼品の充実に取り組んだことが、最も大きな理由であると考えている。
問 コロナ禍によるいわゆる「巣ごもり需要」の影響もあり、返礼品を目的としたふるさと納税制度全体の利用者及び寄附金額の増加も一因であると考える。また、ポータルサイトや決済方法の拡充を図ったことも増額の要因と考えられる。
問 取り組みの内容は。
答 ホームページによる協賛事業者の募集のほか、担当職員が事業者を直接訪問し参加を募るなどの活動を行い、令和2年度は、新たに2事業者7品目の追加となった。
問 特徴的な返礼品は。
答 市内在住のイラストレーターが手がけたゲームソフトのファミリーコンピュータの交換カセットがある。
問 コンピュータの交換カセットがある。
答 また、市内の工房で製作されたバイオリンや、その製造技術を活かしたカッティングボード、名刺ケースなどの雑貨などがある。

問 ふるさと納税寄附金が増額となった理由は。
答 返礼品の充実に取り組んだことが、最も大きな理由であると考えている。
問 コロナ禍によるいわゆる「巣ごもり需要」の影響もあり、返礼品を目的としたふるさと納税制度全体の利用者及び寄附金額の増加も一因であると考える。また、ポータルサイトや決済方法の拡充を図ったことも増額の要因と考えられる。
問 取り組みの内容は。
答 ホームページによる協賛事業者の募集のほか、担当職員が事業者を直接訪問し参加を募るなどの活動を行い、令和2年度は、新たに2事業者7品目の追加となった。
問 特徴的な返礼品は。
答 市内在住のイラストレーターが手がけたゲームソフトのファミリーコンピュータの交換カセットがある。
問 コンピュータの交換カセットがある。
答 また、市内の工房で製作されたバイオリンや、その製造技術を活かしたカッティングボード、名刺ケースなどの雑貨などがある。



返礼品の装飾バイオリン